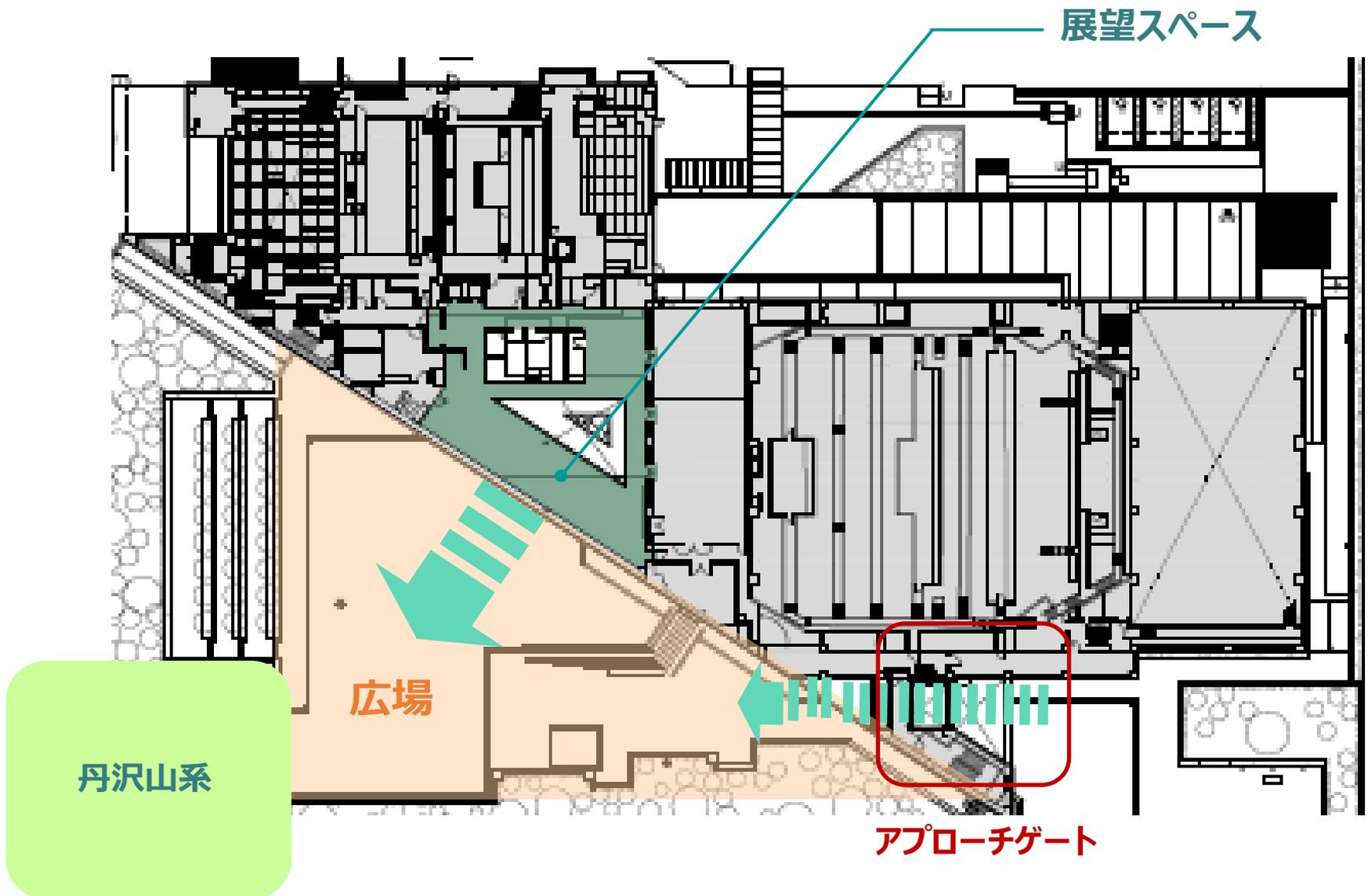


厚木市文化会館

所在地	神奈川県厚木市恩名1丁目9番20号
竣工年	1978年（昭和53年）
改修年	2023～2024年（令和5～6年）
用途	公会堂
応募者	清水建設株式会社
建物所有者	厚木市
設計者	（新築時）大ホール：日建設計、小ホール：日本技建 （改修時）環境デザイン研究所・清水建設 設計共同企業体 基本設計：Light Stage 特定天井耐震補強構造設計：金箱構造設計事務所
施工者	（新築時）清水建設・小島組 特別共同企業体 （改修時）清水建設・小島組 共同企業体
維持管理者	～2024年：（指定管理者）公益財団法人厚木市文化振興財団 （委託先） 太平ビルサービス(株) 2024年～：（PFI委託先） 太平ビルサービス(株)、(株)プロミティ

施設の特徴—丹沢山系の眺望を活かした建物や広場配置

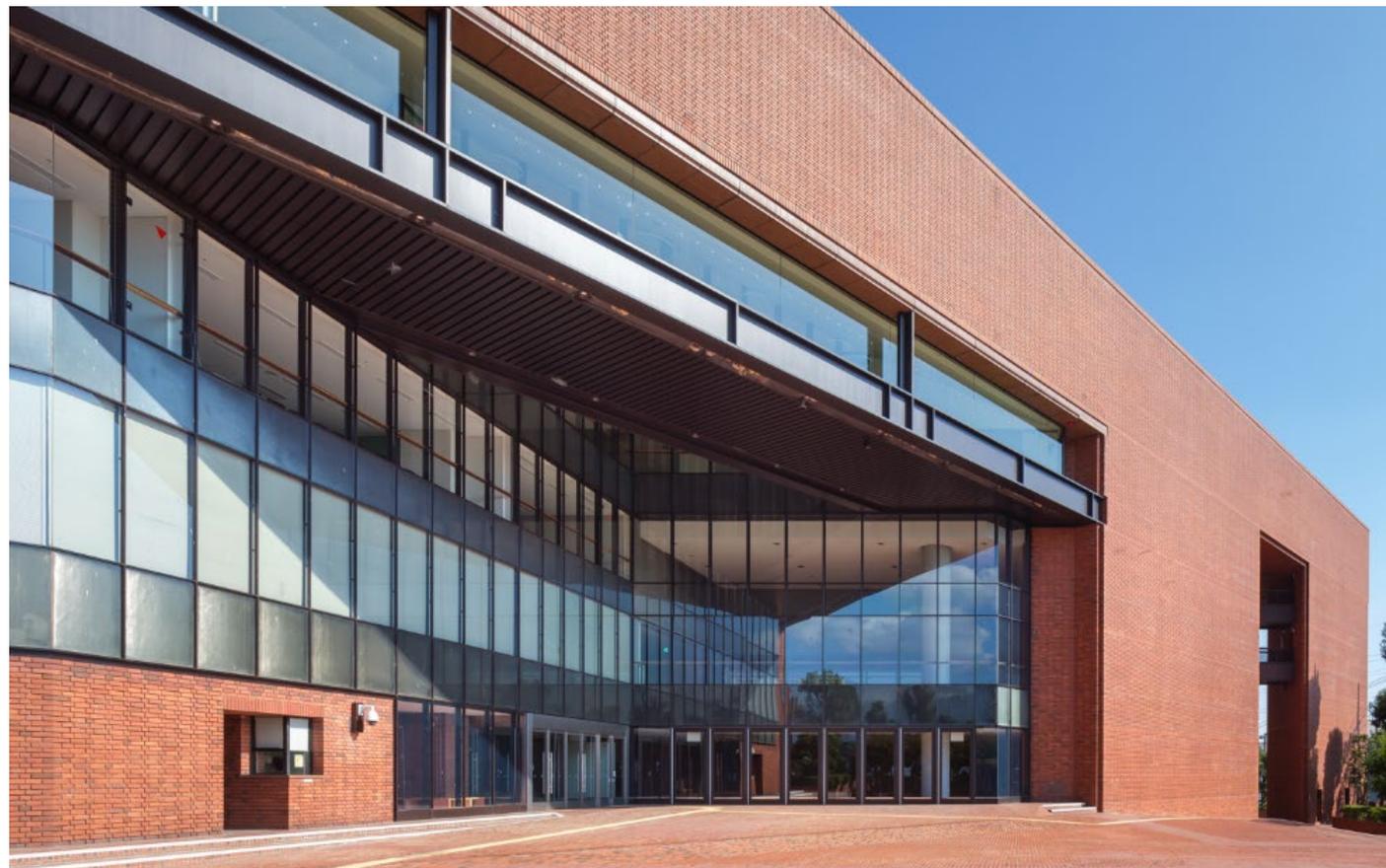




外観—深い陰影を生み出すレンガ壁の門構えを継承



創建時



改修後

南側外観

特注化粧レンガ壁の門構えが作り出す美しい陰影
浮き・破損、建具廻りの防水やり替え部のレンガを更新、壁面全体の樹脂注入補強

外観一年月とともに落ち着きと深みを増す本物のレンガ



建具廻りの防水やり替え部のタイル更新状況



舟底舞台

文楽回し

全国でも珍しい人形芝居のための「舟底舞台」と「文楽回し」を備える
「相模人形芝居」の普及・育成拠点として、文化を継承



豊かな空間と歴史を継承し次世代につなぐ取組

オリジナルデザインの維持と劣化部の機能更新 に加え

特定天井の耐震化

時代に即した価値の付加

環境共生によるまちづくり



特定天井耐震化の流れ

2003年 十勝沖地震

2005年 宮城沖地震

2008年 厚木市文化会館 大小ホール 天井耐震改修(天井裏から)

2011年 東日本大震災

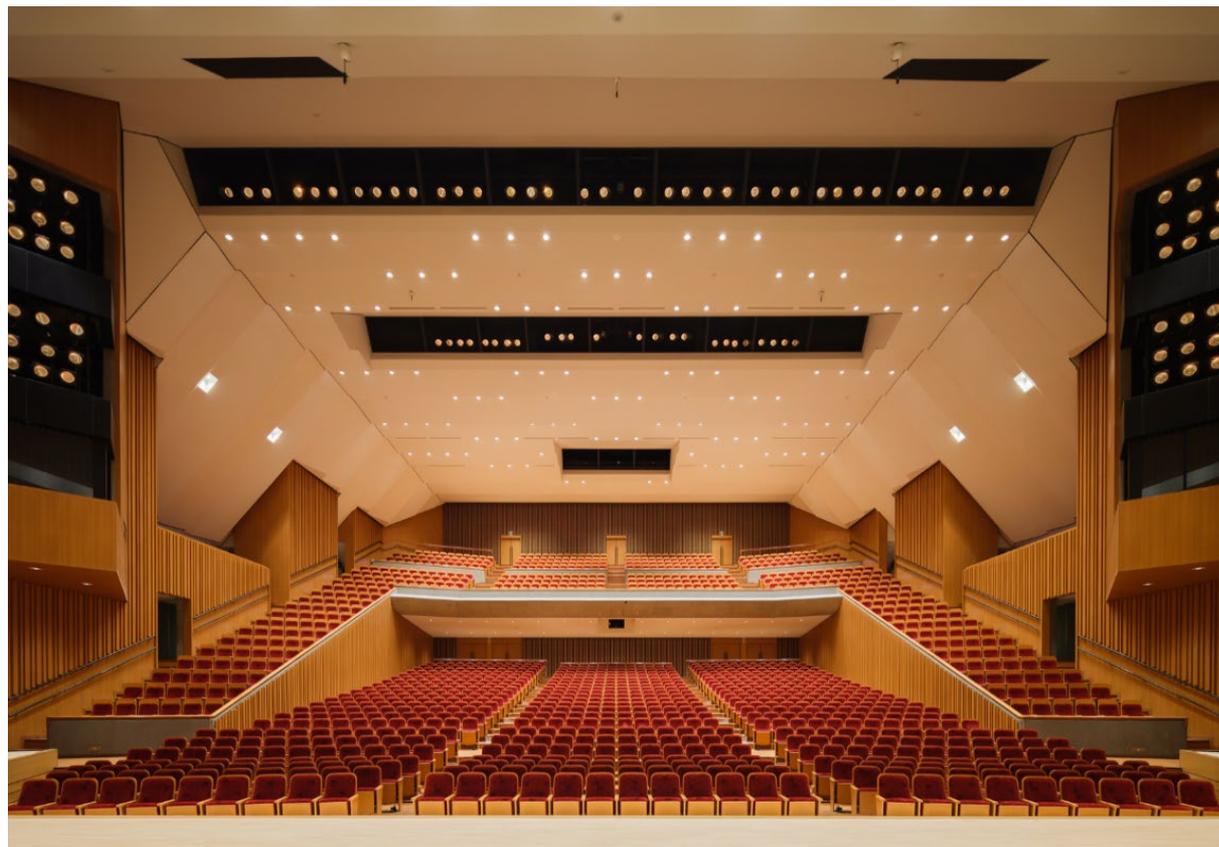
→2015年 建築基準法改正

2021年 厚木市文化会館 特定天井 任意評定取得 (厚木市)

2023~24年 厚木市文化会館 追加補強、既存不適格解消



改修前



改修後

大ホール内観

既存意匠の維持、良好な音響性能の継承、文化芸術の拠点の閉鎖期間の最小限化のため、**既存天井を残置し補強材を追加する先進的な手法**を採用



改修前

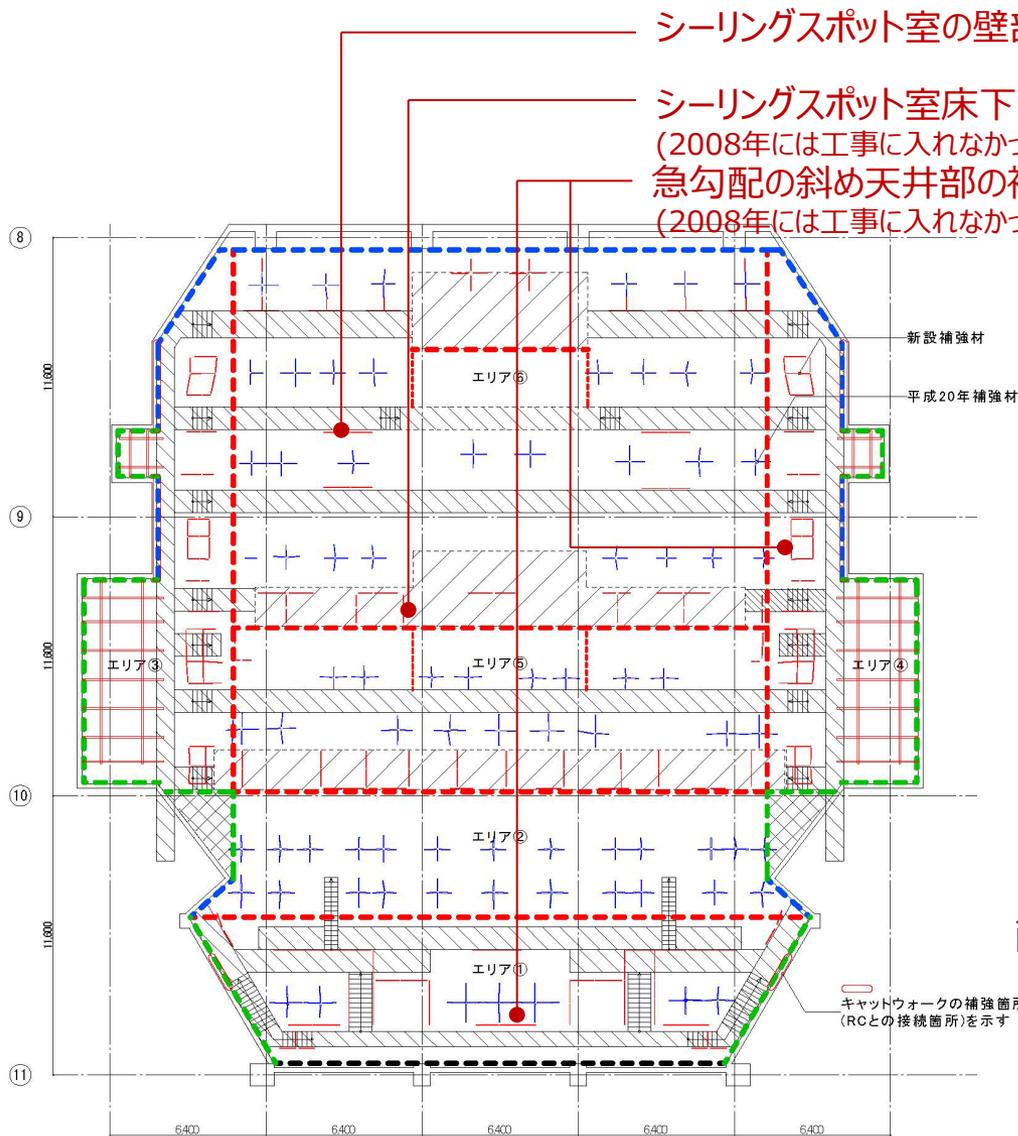


改修後

小ホール内観

丁寧な調査と高度な構造検討により取得した「任意評定」に沿った耐震化
ホールの意匠と良好な音響性能の継承、短工期化を実現

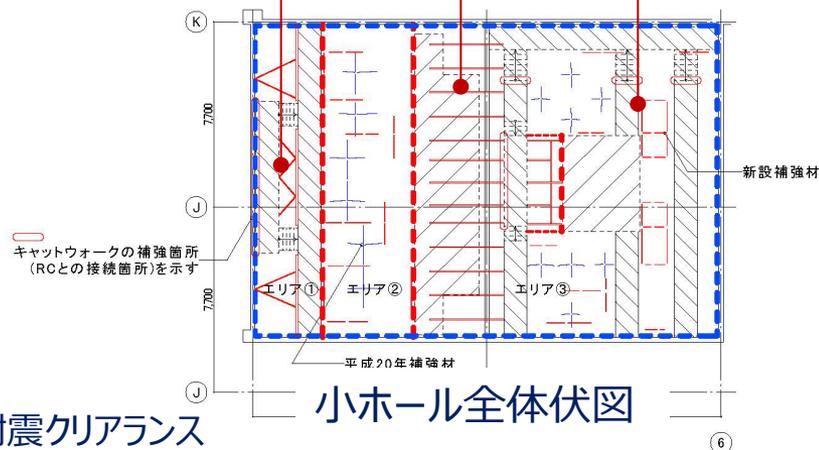
大小ホール 特定天井の耐震化



大ホール全体伏図

シーリングスポット室の壁部のブレース

シーリングスポット室床下の補強
(2008年には工事に入れなかったと思われる)
急勾配の斜め天井部の補強
(2008年には工事に入れなかったと思われる)

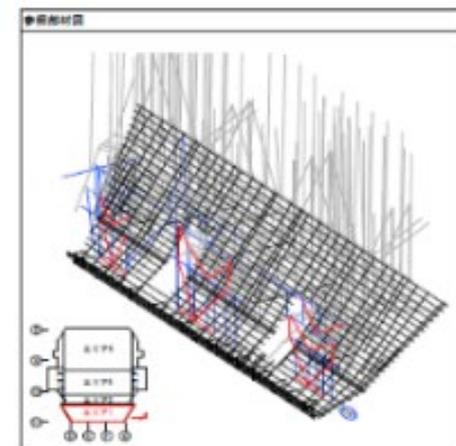
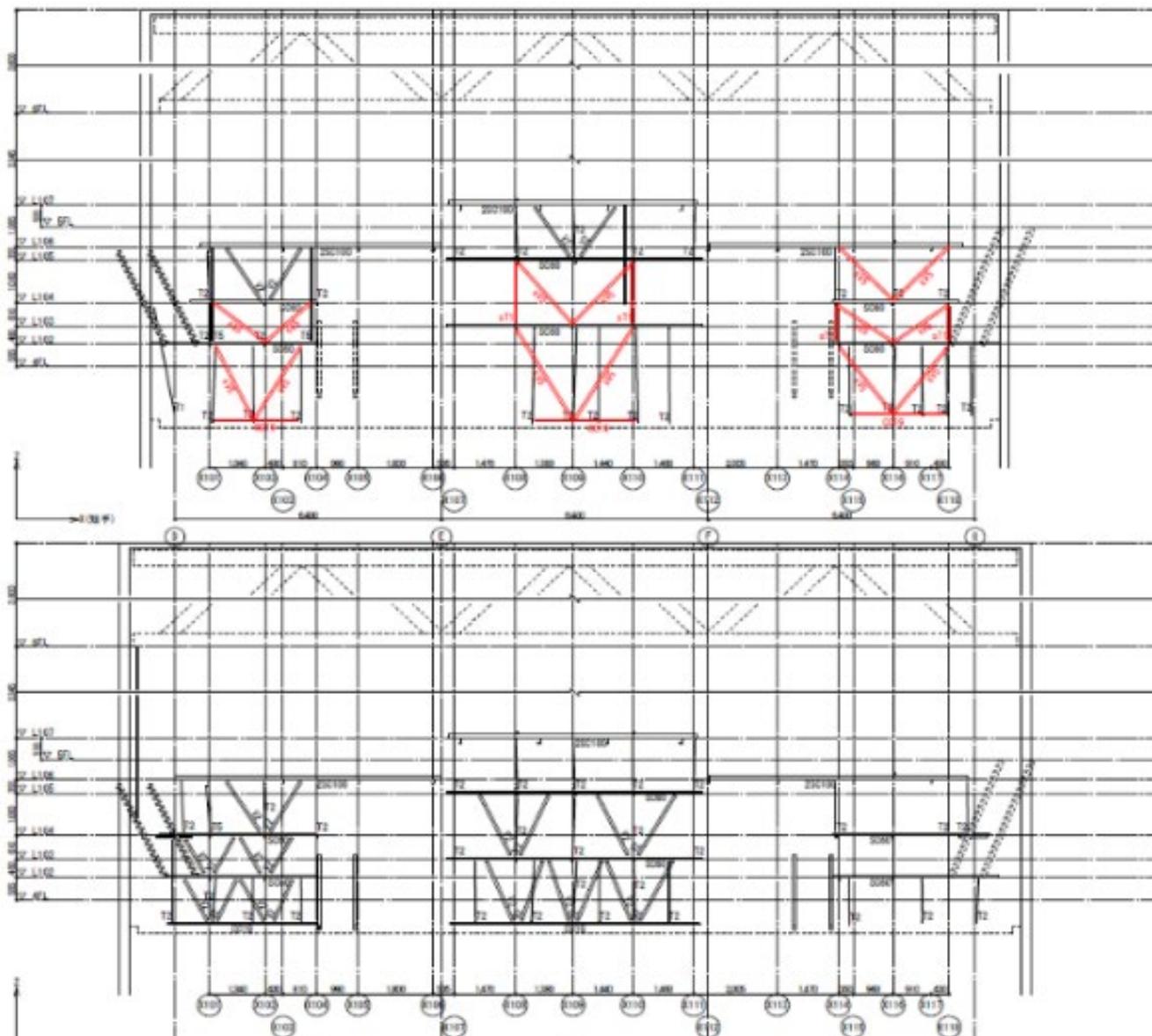


小ホール全体伏図

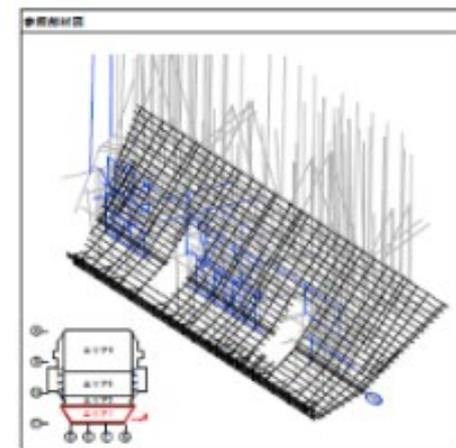
耐震クリアランス

- +—+— 外周クリアランス(20mm)
- +—+— 外周クリアランス(30mm)
- +—+— エリア間クリアランス(20mm)
- - - - - 立ち上がり壁のクリアランス(天井仕上げのみ5mm)
- +—+— 既設クリアランス(50mm以上)
- 特定天井範囲外(躯体から支持される壁)
- シーリングスポット
- キャットウォーク

大小ホール 特定天井の耐震化

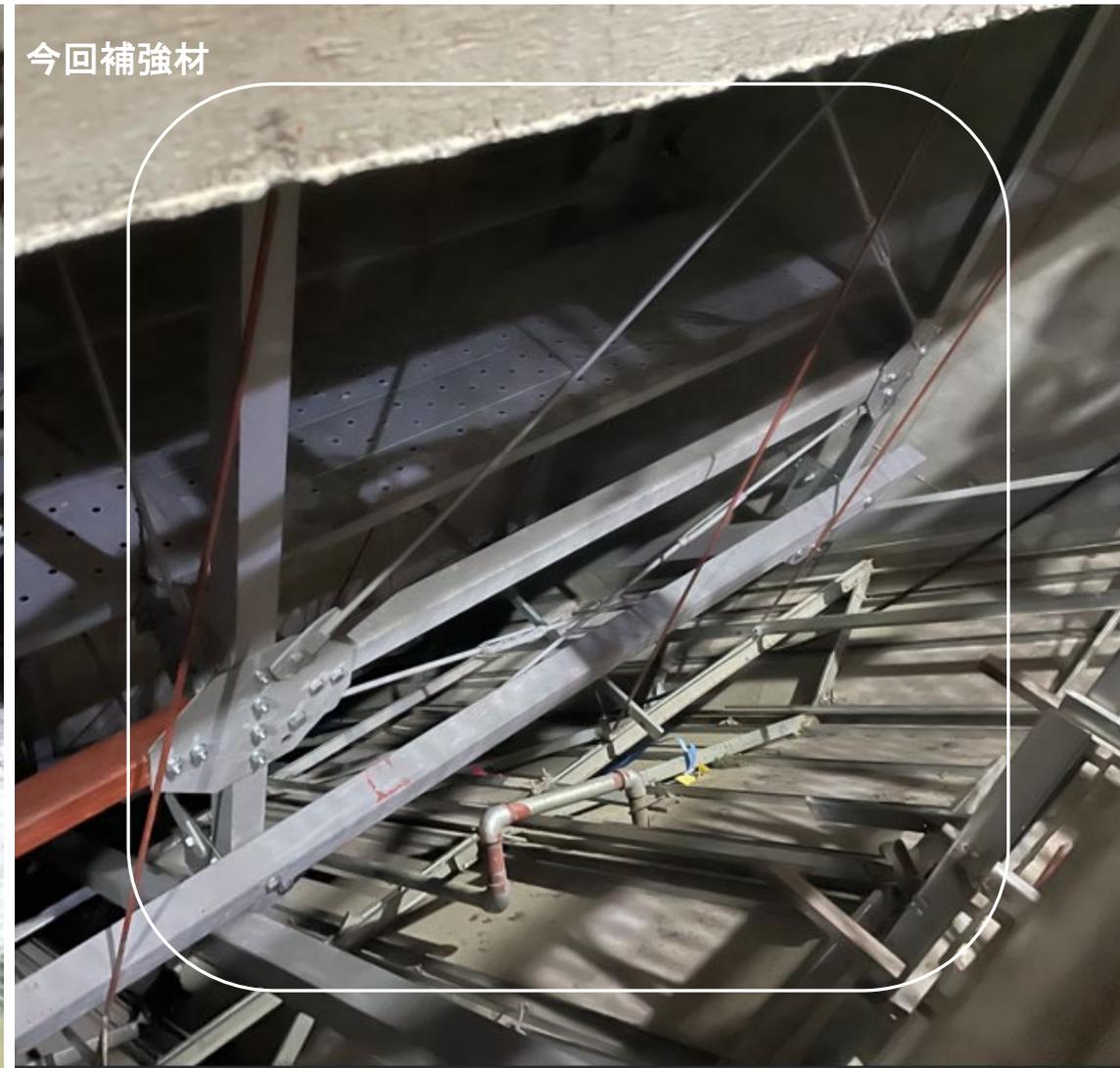


Y101 軸組図



Y102 軸組図

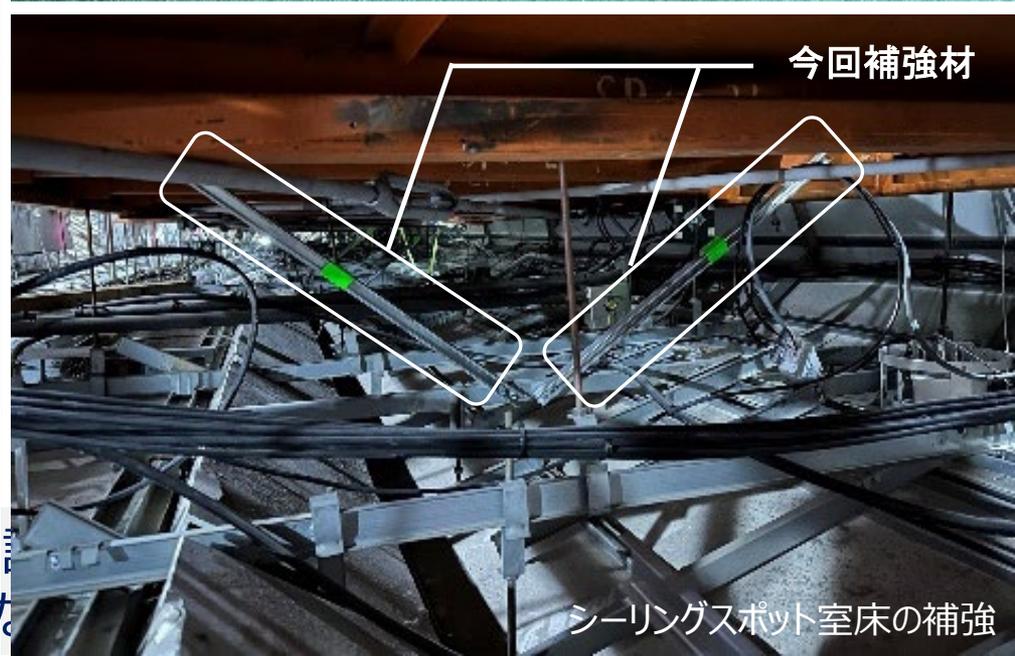
高度な構造検討により取得した「任意評定」図



空調ダクト干渉を調整した 斜め天井部 補強状況

斜め天井部 補強状況

大小ホール 特定天井の耐震化



シーリングスポット室床の開口から補強

シーリングスポット室床の補強



2. 測定結果概要

(1) 残響時間周波数特性測定

測定条件	改修後 空席時測定値 (500 Hz)	改修前 空席時測定値 (500 Hz)
大ホール、舞台反射板設置時	1.6 秒	1.7 秒
舞台幕設置時	1.4 秒	1.5 秒
小ホール、舞台反射板設置時	1.0 秒	1.1 秒
舞台幕設置時	0.8 秒	0.9 秒

※残響時間の値は速報値のため、最終的な数字は多少異なる可能性がある。

- ・大ホール、小ホールともに、改修前よりも僅かに短めの残響時間であったが、その差は0.1秒と小さく、とくに問題のない結果であると考えられる。

(2) エコータイムパターンの観測

- ・大ホール、小ホールとも、いずれの観測点においても、支障となるエコー等の音響障害は検知されず、自然な反射音性状が得られていることを確認した。

(3) 空調設備騒音の測定

測定箇所	改修後測定値	改修前測定値	コメント
大ホール 舞台	NC-19	NC-22	良好
1階客席	NC-17~19	NC-19~22	良好
小ホール 舞台	NC-17	NC-27	良好
客席	NC-18~19	NC-24~26	良好
集会室	NC-17~22	NC-42	良好

- ・大、小ホールともに、空調設備騒音は改修前より小さく、良好な結果であった。
- ・集会室の空調設備騒音も改修前より小さく、良好な結果であった。

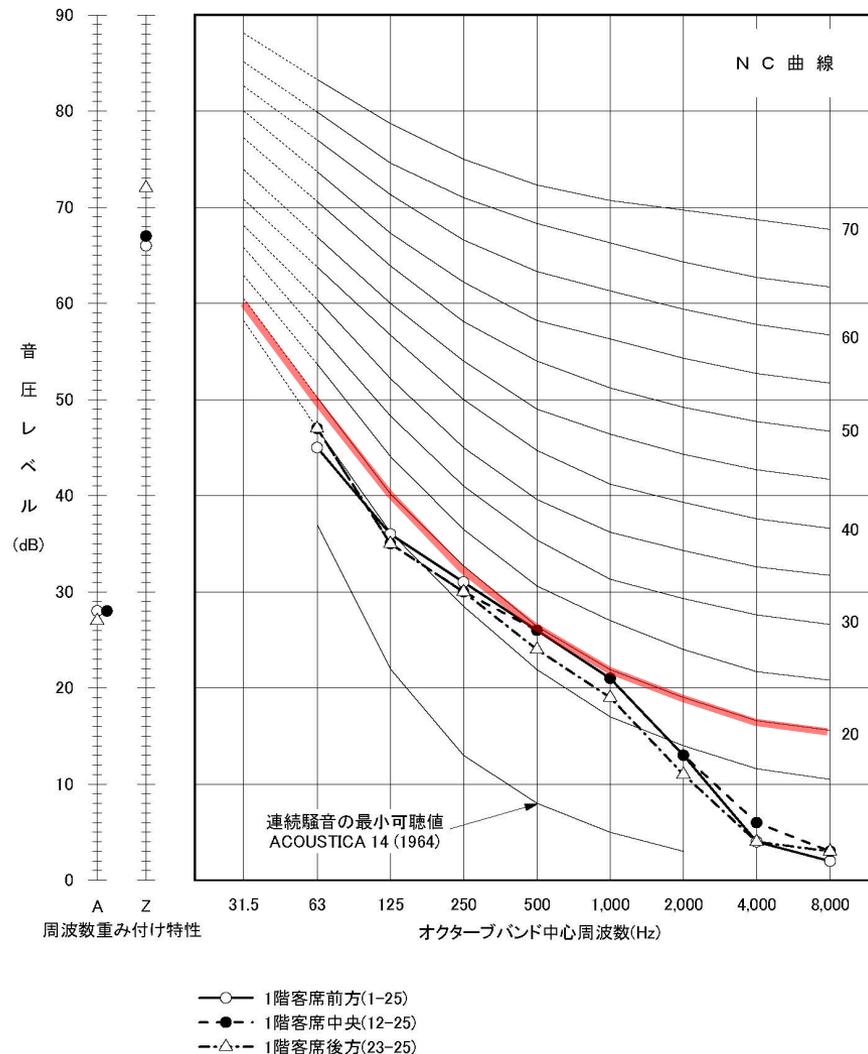


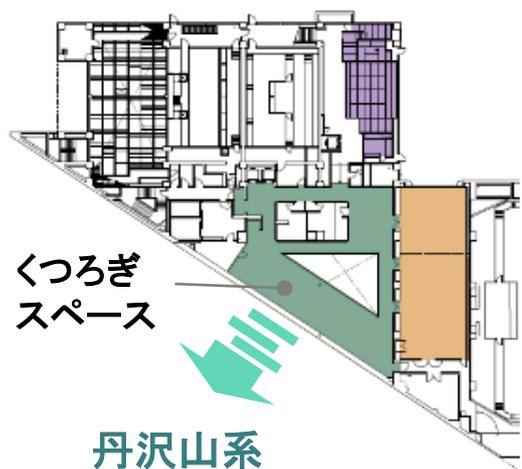
図-30 大ホールの空調設備騒音(2)

音響性能検査により、既存の音響性能が継承できたことを確認

残響時間：大ホール 1.7秒・小ホール 1.1秒(反射板設置・空席時) 空調騒音NC=20(大小ホールとも)



改修前



くつろぎ
スペース

丹沢山系

5階平面図



改修後

新たな交流・休息の場の必要性から、旧食堂をくつろぎスペースに改修
段差を解消し、丹沢山系の眺望を活かした、広くフレキシブルな空間に再生



和室 改修前



和室 改修後

ライフスタイルの変化に伴う要請により、床材を変更し、ヨガ・立礼式茶会等に対応
壁・天井の良質な既存材を継承



エレベーター増築によるバリアフリー化(2004年)

時代に即した価値の付加 — バリアフリー化



厚木市の自然	5階	 紅葉	 紅樺		
	4階	 丹沢山地	 緑青		
	3階	 果実	 藤		 枯草色
厚木市の文化	2階	 相模人形芝居	 蒲色	 砥粉	
	大ホール		 臙脂	 洗朱	
	小ホール		 鉄紺	 浅葱色	
厚木市の自然	地下2階	 相模川	 浅縹		

今回リノベーション — だれでもアクセスしやすく厚木の魅力を発見できる
厚木市の自然と文化をモチーフとした各階テーマカラーによるインテリア



既存レンガ壁との調和を図ったサインに一新
アクセスのしやすさが飛躍的に向上



点字ブロックや手摺を追加、段差解消機を更新（大ホール両脇）
難聴者支援設備を導入（大小ホール）

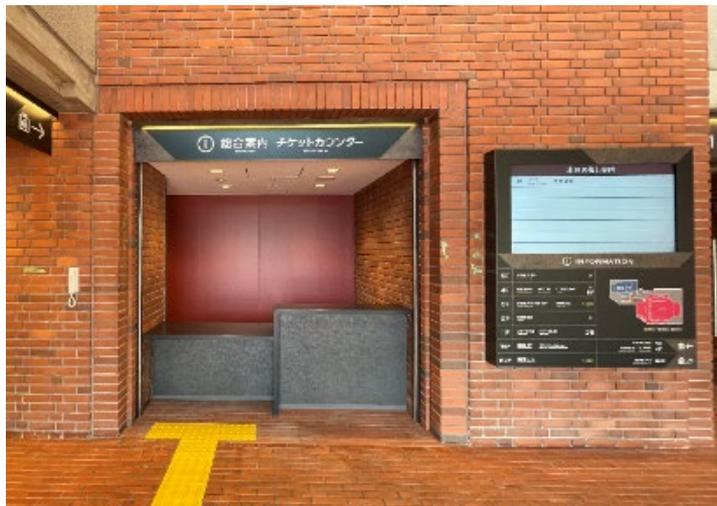
時代に即した価値の付加 — 受付カウンターの拡張・充実



改修前



改修前



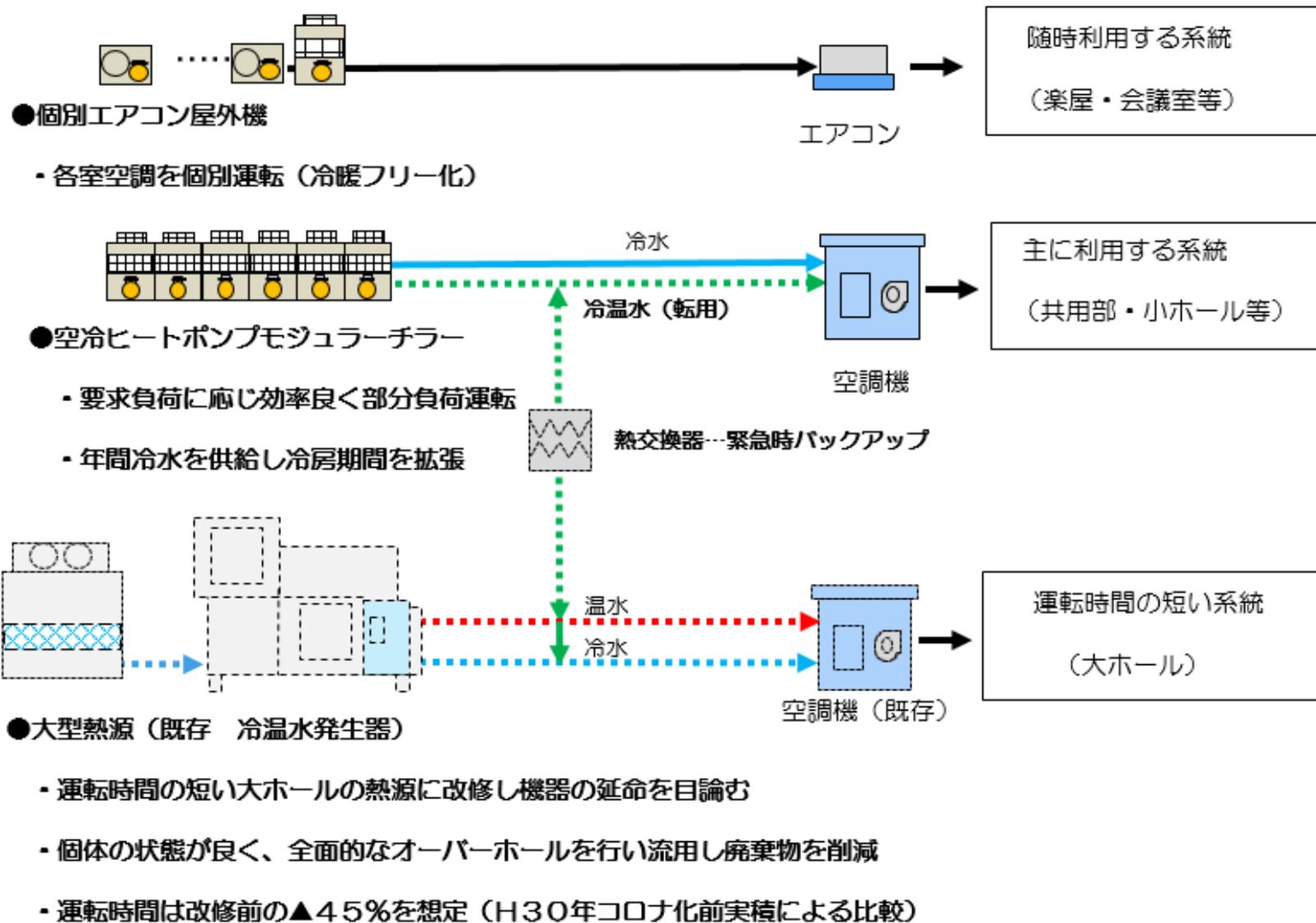
1階受付：ローカウンターを設置 改修後



2階窓口：カウンターを大幅に拡張 改修後

施設利用者の利便性の向上の要望を受け、
受付カウンターまわりの拡張・充実を図った

時代に即した価値の付加 —空調システムの一部改変



大ホール以外の空調は大型熱源から切り離し、個別エアコン、モジュラーチラーに改修
冷暖フリー化により、維持管理性能向上・省エネルギー化

時代に即した価値の付加 —省エネルギー化



□全館LED照明化（全ての一般照明）



□太陽光発電パネル



□部分負荷効率の高い熱源に更新



□更新機器はトップランナー製品採用
（写真は制御・監視機器）



□節水型衛生器具の導入



□再利用機器は、効率改善のため
オーバーホール等を実施





□舞台機構設備

- バトン類の昇降速度の高速化とインバーター制御による可変速化

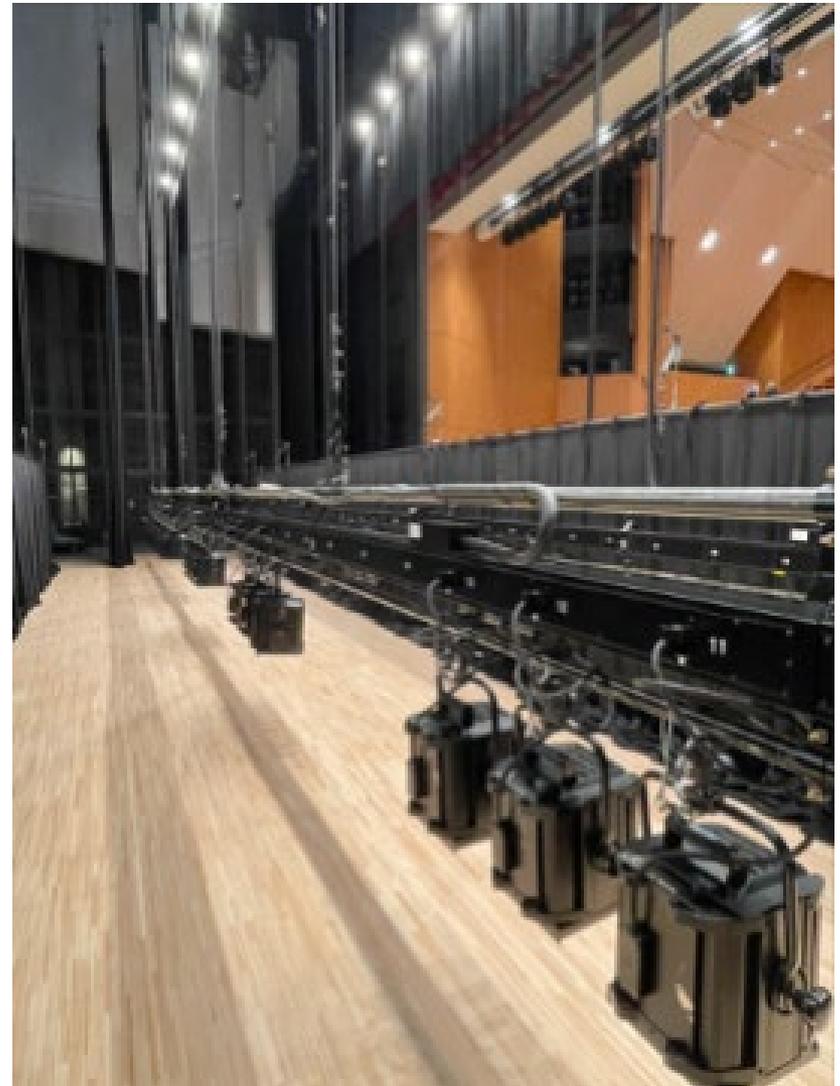


演出対応の幅を拡張

- 位置設定器と荷重検知装置付に更新



近年の持込機材の重量化に対応



大ホール吊りバトン



□舞台機構設備

・大小ホール緞帳のクリーニングを実施





□舞台機構設備



クリーニング状況（京都 川島織物工場）



□ 舞台照明設備

- ・ 天井反射板ライト・
ボーダーライト等のLED化



省エネルギー化
維持管理の低減

- ・ 照明操作卓：
バックアップ機能付
各調光回路での異常の検出
・ 表示機能付



安全性の向上



小ホール舞台照明



小ホール調光室



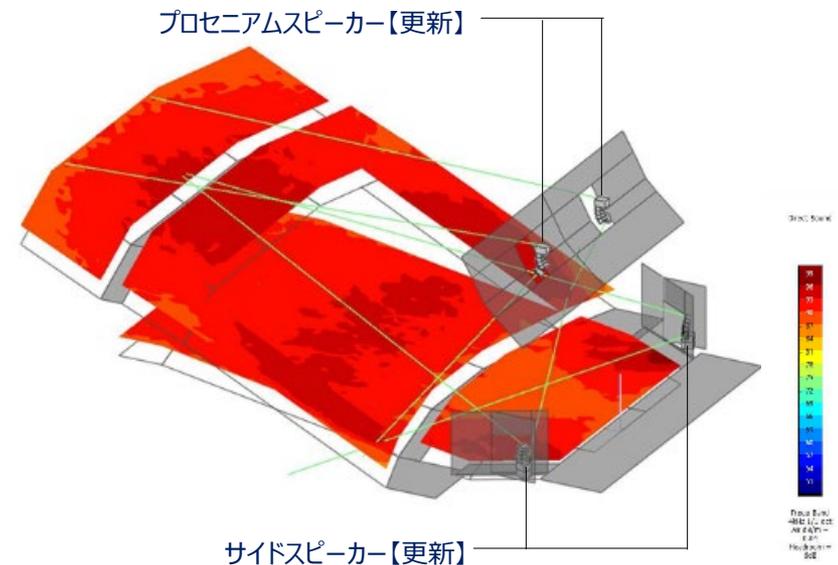
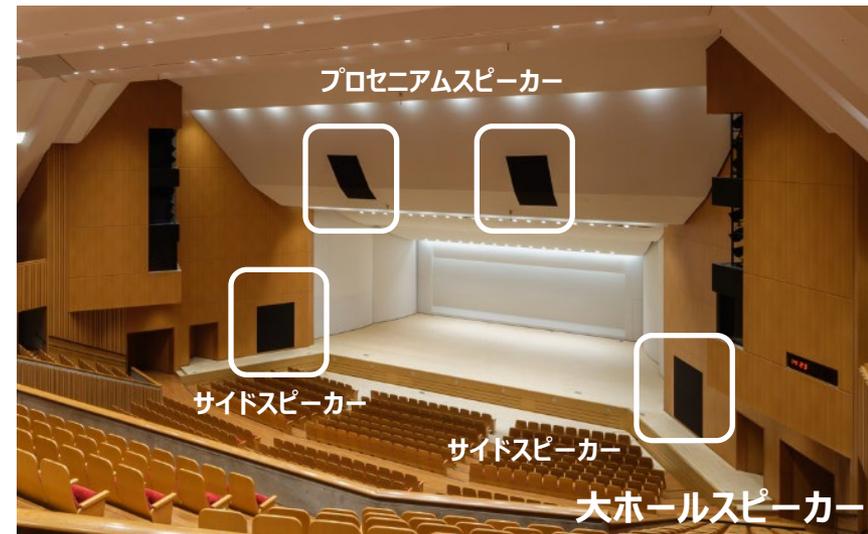
□ 舞台音響設備

- スピーカーシステムはホール全席が最良の状態で見賞できるように遠達性の優れたラインアレイスピーカーで構成
- 音響調整卓は従来のデジタル伝送を超えたネットワーク化を導入し、高音質な機種で更新

高音質化

- 既設回線を残置しながら、新規回線を追加することで、バックアップ機能を確認

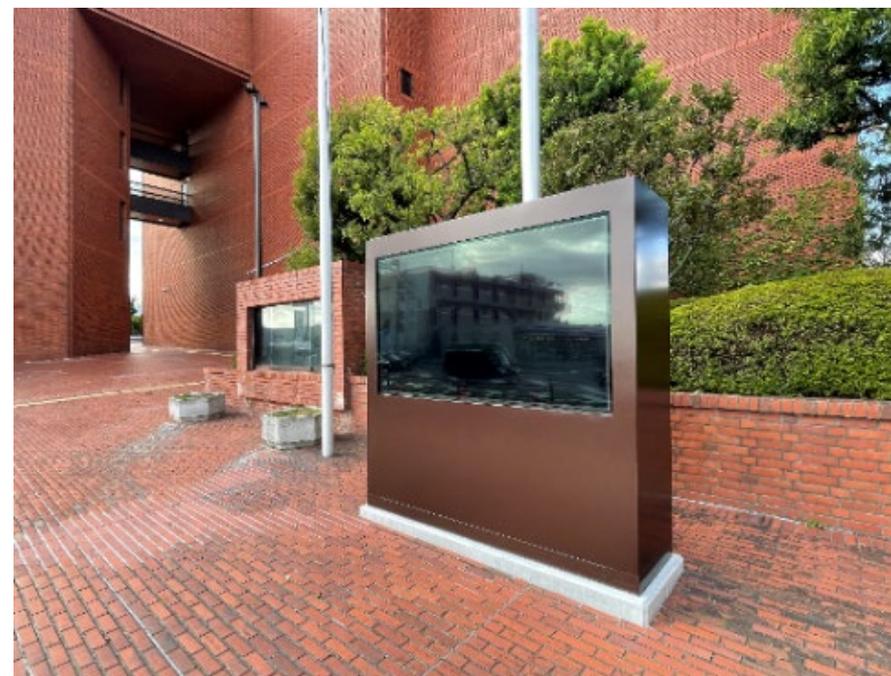
安全性の向上



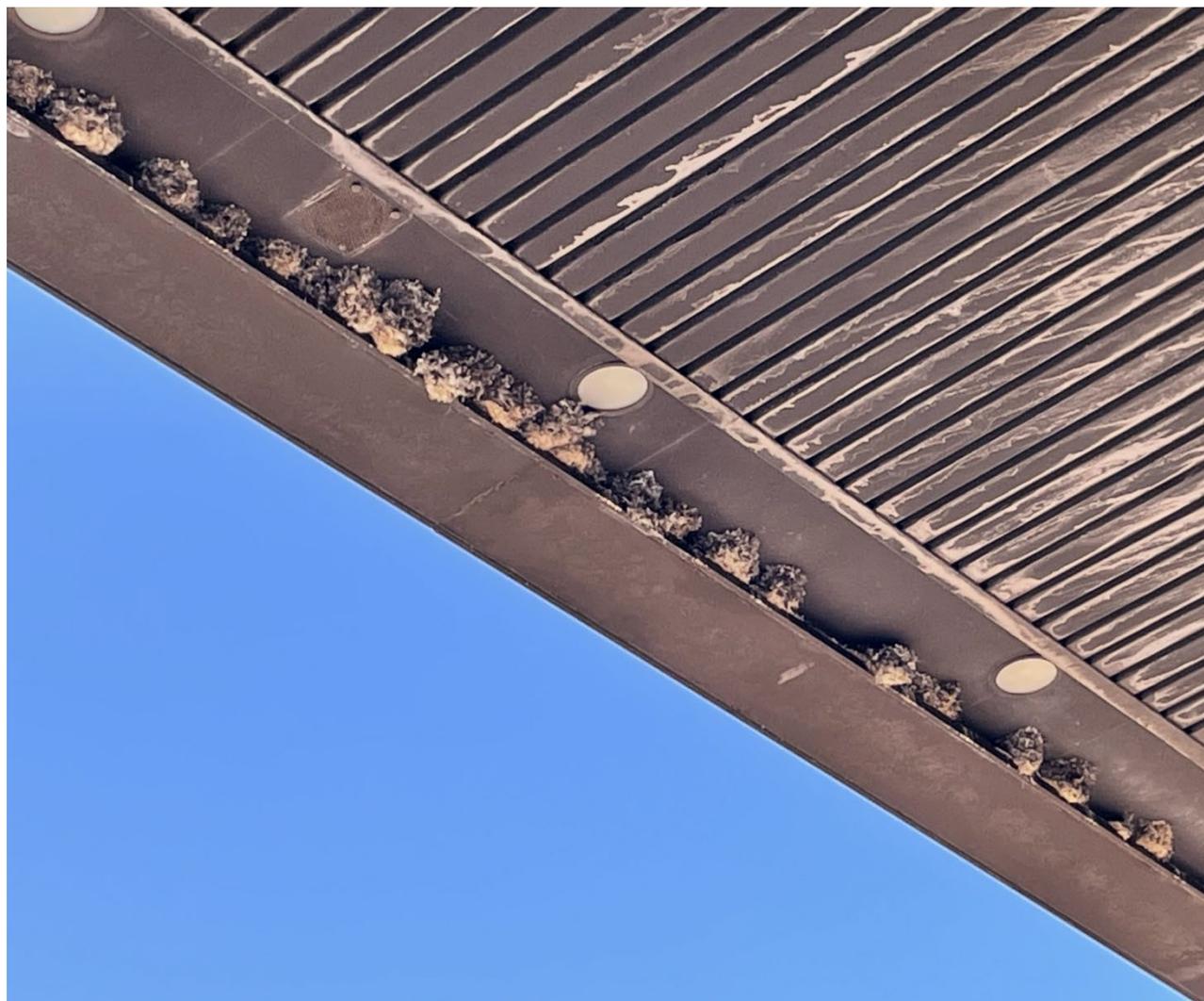
大ホールスピーカー 均等で十分な音圧分布を実現



外壁ライトアップ



デジタルサイネージ



希少な種類であることが判明
市・PFI事業者の設計・施工・維持管理・鳥専門家で議論を重ね、共生を決定



軒天井塗装作業：塗装臭気対策を実施し、少しずつ施工



観察モニター

巣の直上の4階くつろぎスペースに観察モニターを設置



観察モニター

観察カメラ・モニターを設置、見守りの環境を整備
人工巣を設置し、将来の巣の移動に備えた調査を開始



市民観察会



市民観察会



環境団体とのネットワーク

市民観察会および平素の観察目的の来館による賑わいの創出、
環境団体との連携による コミュニティの醸成・まちづくりを進めていく



教宣を兼ねた糞避け傘



「はたちのつどい」の賑わい、糞避けテント設置

ヒメアマツバメとの共生：教宣を兼ねた糞避け傘・大規模イベント時の糞避けテント市・運営・維持管理・建設が環境共生の重要性を理解し、一体となって取り組んだ成果



「厚木シアタープロジェクト」：劇団・劇場・市民の三位一体となつてつくる活動を継続
「相模人形芝居」の定期的な公演：地域の伝統芸能を継承・発展させる拠点



毎週日曜日に駐車場で開催される朝市
工事中も継続され、リニューアルオープン後も大いに賑わっている



5階をリング型照明にて更新し、新たな表情が浮かびあがる夜景
次世代に引き継がれ、
地域・まちづくりの拠点として、更なる役割を果たしていく